広報文芸

自由律俳句

おおくさの会編集室選

父の最後の言葉噛み締め墓誌の前に佇む　茶屋　藤原　寿郎
春彼岸やっと逢えたのに返事の無い淋しさ　神戸上　柴田　篤子
桜咲き職去る子細く見え　宝谷　長尾　智恵
昔の事が昨日のように風の便りに遠い人　茶屋　小林　道子
無住の庭犬ふぐりと踊子草の競演　生山　渡辺　圭子
父に似た人を目で追った病院の待合室　茶屋　長谷川由美子

俳句

駄句駄句会編集室

覇権主義滅ぶときなり沖縄忌　萩原　岡本　健三
峠越え右折左折に著莪の花　宮内　木村萬佐子
万緑やビルの街から故郷へ　宮内　田邊登志美
春光や萠芽（ほうが）にもゆる二人旅　宮内　舩越　裕子
著莪の花友の訃報や悼む肯　矢戸　和田　淑子
水面に百花したがえ藤の花　菅沢　秦　節
こっそりと戦争税とな風かほる　下石見　矢田貝　元

短歌

生きるとは苦しきことと覚えたり　卆寿を過ぎて釈迦に納得　湯河　山田　司郎
逆境に生き抜く力我にあり　ゼロから有をまるで手品師　下石見　浅川　三郎
アスリート負けず嫌いと大望を　目標定め果かんに挑む　下石見　浅川　三郎
夏日には焦らず急がずゆっくりと　日陰を求めてノルディックウォーク　上石見　福田　輝之
半夏生求めて止まぬ琥珀色　梅の果実を早期に採らむ　上石見　福田　輝之
若き人料理の味付バラエティ　婆（ばあ）の十八番（おはこ）は味噌正油　下石見　佐伯みすず

広報にちなんでは、みなさんから投稿のあった俳句・短歌・川柳をご紹介しています。個人での投稿もできますので、お気軽に送付ください。

「手話教室のお知らせ」

手の動きや顔の表情で意思を伝える手話。鳥取県では手話言語条例制定後、手話を見かける機会が増えています。日南町手話サークルでは、1ケ月に2回のペースで基本的な手話の学習会を開催しています。手話に興味をお持ちの方は、一緒に手話を学んでみませんか。

7月の日程

5日(日)14時～15時30分

場所　文化センター第3研修室

【問合せ】

石田由香里（080-3052-9933）

浅野　博美（090-9734-1887）

「洪水」

左手は指先を前に向けて立てて構え、右手の親指側を乗り越えて左の方へ移動させる

「地震」

両手のひらを上に向けて胸の前で水平に並べて同時に前後に揺らす

「災害」

左手は小指と親指を立てて手の甲を相手側にして構える。右手は人差し指・中指・薬指を立てて左手の上で「災」の上の「巛」部分を表す

「注意」

両手を胸の前で広げて上下に並べ胸元に引き寄せながらぎゅっと握る

※「手話表現には、色々な表現方法があります。」